

2025.9.5

報道関係者 各位

<配信枚数 2 枚>

立命館の附属校生らがオーストラリアの生徒と共同研究 ～宇宙の STEAM 教育に取り組む～

2025 年 9 月 21 日(日) 大阪・関西万博オーストラリアパビリオンで共同発表

学校法人立命館(所在地:京都市中京区、総長:仲谷善雄)は、オーストラリアの高校生と混合チームで宇宙をテーマにした STEAM 教育に取り組む共同教育プロジェクト「Connecting Minds プログラム～大阪 2025 想いをつなぐプロジェクト」に参加しています。約半年間にわたるプロジェクト達成の証となる、未来志向のプレゼンテーションを、2025 年 9 月 21 日(日)に、大阪・関西万博オーストラリアパビリオン Umi Room で、国内外の来場者に向けて披露します。

オーストラリア政府の呼びかけで、立命館学園附属校の立命館中学校・高等学校(京都府長岡京市、校長:東谷保裕)、立命館守山中学校・高等学校(滋賀県守山市、校長:岩崎成寿)、立命館慶祥中学校・高等学校(北海道江別市、校長:菊地賢司)、および提携校の学校法人利晶学園 利晶学園大阪立命館中学校・高等学校(大阪府堺市、校長:花上徳明)から、延べ 14 チーム、59 人の生徒が「Connecting Minds プログラム」に参加しています。



(左)オンラインで説明するオーストラリアの生徒。



(右) オーストラリアの生徒の説明を聞く附属校の生徒。

オーストラリア政府公認 NPO である One Giant Leap Australia Foundation が主催する同プログラムは、宇宙とハイテク STEAM(※)キャリアの国際的な普及を目的に、宇宙の専門家によるオンライン講演も予定されています。各チームは、ミッション達成に向けて、企画から研究、実験、分析、発表までを主に英語で挑戦します。オーストラリアの生徒との協働で、授業の枠を超えて多様性、課題解決力、創造的思考、発想性、科学的探究力、英語コミュニケーション力を育みます。

記

日時: 2025 年 9 月 21 日(日) 午前の部 10 時 00 分～12 時 00 分/午後の部 13 時 00 分～15 時 00 分

会場: 大阪・関西万博 オーストラリアパビリオン Umi Room

※ハイテク STEAM…AIを使ったプログラミング教育、ロボット工学を取り入れたものづくり、デジタルアートなどの STEAM 分野。

本リリースの配布先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

●出展・企画についてのお問い合わせ先

学校法人立命館 総合企画部 社会共創推進課 担当: 埴口(たおぐち)

TEL:072-665-2555 Email:taogu81@st.ritsumeikan.ac.jp

●取材・報道についてのお問い合わせ先

学校法人立命館広報課 担当: 覚(かく)・田中

TEL:075-813-8300 Email:r-koho@st.ritsumeikan.ac.jp

※ご取材をご希望の際は、ご取材日の 3 日前(土日・祝除く)までにお知らせいただけますと幸いです。

(別紙)

■立命館学園附属校・提携校の「Connecting Minds プログラム」プレゼンテーション

午前の部 10時00分～12時00分

【立命館中学校・高等学校】

参加生徒数:7人

チーム	テーマ	パートナーズクール
Astronomical Phoenixes	宇宙飛行士の健康 - 火星への旅と火星での生活中に宇宙飛行士の身体的および精神的健康を維持するために私たちは何ができるか？	Colo Heights Public School (コロ・ハイツ・公立学校) (New South Wales 州 Hawkesburys 市)
Luna Seeds	宇宙での食糧生産	

【立命館守山中学校・高等学校】

参加生徒数:10人

チーム	テーマ	パートナーズクール
ESKAY+ JIMOS	宇宙農業 - 陸上の海藻、垂直農法などを中心とした研究プロジェクト	Snowy Mountains Grammar School (スノーウィー・マウンテンズ・文法学校) (New South Wales 州 Jindabyne)
AUSPAN / JAPTALIA	宇宙空間で家庭環境を再現した空間内の部屋	

【学校法人利晶学園 利晶学園大阪立命館中学校・高等学校】

参加生徒数:20人

チーム	テーマ	パートナーズクール
JASIT(Japan Australia Space Initiative Team)	宇宙ゴミを回収し、リサイクルする方法	Maclean High School (マクレーン・高校) (New South Wales 州 Maclean)
Takoyaki Demo Quokka	火星滞在中の身体への負担と健康維持法	
Galactic Entrepreneurs	月で食料を栽培し、そのエネルギーをドローンや車の動力として利用する方法	
Space Invaders	火星の住宅に水と電気を供給する方法	

午後の部 13時00分～15時00分

【立命館慶祥中学校・高等学校】

参加生徒数:22人

チーム	テーマ	パートナーズクール
The Next Mars Generation	火星居住地と人類の持続可能な生活	Mountain Creek State High School (マウンテン・クリーク・州立高校) (Queensland 州 Sunshine Coast)
Aussie Nippon Mars Explorers (ANMY)	火星における人類の持続可能な地下生活	
Blackhole Band-Aids	火星基地の設計	
Mars Bars	宇宙環境において再生可能エネルギーをどのように生成できるか	
Shooting for the Stars	月の溶岩洞を居住可能な居住地に変える可能性を探る	Wodonga Senior Secondary College (ウオドンガ・高等学校) (Wodonga 州 Victoria)
Astraeus	火星の地形図を作成する方法として、電気モーターエンジンで長時間飛行できるヘリコプターを設計する	